

BUILDER

「知恵のある女は自分の家を建て、愚かな女は自分の手でこれをこわす。」

箴言 14:1



メッセージ/ビルダー（建てあげる者）
スティーブン・ケイラー師

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 2009.5.6月号 NO.133

YOUTH FOR THE NATIONS 2009



「ビルダー」、これは大切な概念です。神様はビルダーなるお方です。神様が造られるものは最高で、麗しく、秩序があり、いのちがあります。私達も神様に似せて造られたゆえに、ビルダーとして存在しています。世界を見ると、建物、機械、作品、芸術など、人間が作っているものがあふれていますね。今日は、私達が神様に召された者として、自分を造り、人を造り、教会を造り、世界を造るビルダーになることについてお分かちします。

私達は人生において、何かを建て上げているか、何かを壊しているか、このどちらかしかありません。知恵のある人は建て、愚かな人は壊します。ここにもう一つ、「自分の家を自分の手で」という、鍵となる言葉があります。神様は私達に責任を与えています。あなたの人生がうまくいかないのは、親や学校、社会、牧師、神様のせいではありません。自分のせいです。人生の中で不公平なことを経験するかもしれません。だからと言って、それであなたの人生がだめになるわけではありません。聖書には、神様の存在(摂理、主権)と人間の責任という二つの真実の基盤があります。成功したいなら、責任をもって自分の手で家を建てなければなりません。

●ビルダーの特徴

ビルダーは悪いところがあったら改善し、それをさらに強固にします。ビルダーが行く教会や会社、学校、家庭は、ビルダーがいるゆえに良くなっていきます。

●ビルダーの目的

1、 栄えるために最善を尽くす

ビルダーは何かか栄えることを望みます。ビルダーが手を加える時、それは栄え、実を結びます。

2、 永續させるために最善を尽くす

「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。・・・あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。」(ヨハネ 15:5,8) 神様は私達がビルダーになってよい実を結ぶことを喜んでおられます。「あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。」(ヨハネ 15:16) ここに神様の主権がありますね。しかし、神様は多くの人を選んでおられますが、そのすべてが神様に応答しているわけではありません。私達は、「行って実を結び・・・その・・・実が残るために働かなければなりません。」

●ビルダーの種類

1、 ライフ・ビルダー

まず、自分の人生を栄えさせるために自分の人生を建て上げます。それをおろそかにして、どうして他の人の人生を建て上げようとするのでしょうか。自分を管理できないのに、神様はあなたに人を任せると思いませんか。私達はまず自分を一番の実験台とし、それで成功したら神様はあなたに多くの人々をお任せになるでしょう。

2、 ファミリー・ビルダー

家庭を持つことは、人生において大切な部分です。もし私が自分の家庭を正しく治めなければ、どうして牧師をやっていくことができるでしょうか。家内という一人の女性を幸せにできなければ、どうして神様は私に教会をお任せになるのでしょうか。私の第一の教会は家内と子ども達です。

3、 チャーチ・ビルダー

建設的に自分の教会を建て上げ、栄えさせます。神様はそのようなビルダーを探しておられます。

4、 ワーク・ビルダー

自分に与えられている使命と働きを建て上げ、栄えさせていきます。私達は偶然に成功するわけではありません。自分を建て上げ、自分の働きや賜物、才能を磨いて建て上げなければなりません。

5、 ワールド・ビルダー

「世界を変える」「町を獲得する」「自分の地域、社会、国を栄えさせ、生きている時代に影響を及ぼす」そのような幻を持ってください。このように祈りましょう。「主よ、私を拡大してください。私の可能性を見せてください。」そして、「私は世の光です。私が

地域を変え、日本を変えることができる」という夢を持ちましょう。神様はあなたを通してこの時代、この世界、この国を変えることを願っておられます。

●ライフ・ビルダーとなるために自分の心を見張る

「あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。」(使徒 20:28) これは、エペソの教会を建てたパウロが、もうエペソの信者らと再会することがないと分かった時、そこのリーダー達を呼んで話した最後の言葉です。この言葉の順序を見てみましょう。第一に自分自身、次に、群れの全体、とあります。牧会をする前に、まず自分自身を建て上げなくてはなりません。もし、私達の内側に問題があり、弱さがあるなら効果的には用いられません。だからこそ、神様は私達を取り扱われるのです。あなたを拡大させ、より良く用いるためです。しかし、あなたも自分の果たすべき責任を果たし、神様と協力しなければなりません。自分自身に気を配りましょう。

「力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。」 箴言4：23

まず自分を育て養うなら、あなたの心から良い実ができて、人々は引き寄せられて来ます。しかし、あなたが実を結んでいなければ、誰があなたのところに来ますか。その実がないのに誰が食べに来ますか。私達がキリストのうちにあり、聖霊に満たされて神様と正しく歩んでいるなら実を結びます。そして人々はそれを食べに来ます。

「神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」(創世記 1:27-28)

神様は計画をもって私達を造られました。神様は人間を祝福されるお方です。私達が栄えて豊かな人生を送ることを神様は望んでおられます。そして、神様は私達が栄えるために必要なすべてを用意してくださいました。さらに、神様は人間に、「地を従えよ。」と言われました。この原則を自分に当てはめてみるなら、私達は何を従えさせなければならないのでしょうか。まずは自分の心ですね。「神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。」(創世記 2:15) あなたの心は美しいエデンの園になる可能性があります。あなたの心は素晴らしいいのちを突らせることができるのです。でもそのためには大変な努力が必要です。神様によって造られたからといって、自動的にその心がきれいになるわけではありません。畑をそのままにしておいたらどうなりますか。雑草が生え、虫がつかます。ゴミも飛んできます。神様は土を造り、季節を定め、実を結ぶ種を与え、雨を降らせました。しかし、神様の一方的な働きだけではそこに美しい産物はできません。私達と神様は協力し合うのです。自分を建て上げ、自分の人生を管理していくという責任が私達の側にあります。

●ライフ・ビルダーとしてすべきこと

1. 自分の思いを刷新する

私達は自分の思いを変えなければなりません。あなたの問題は、あなたの性格でもなく、環境や苦い経験でもなく、あなたの思いです。思いを刷新するなら、環境や過去に関係なく、萎えていた心がよみがえります。これは大きなチャレンジですが、自分の思いを守り、管理できなければ、あなたの人生はうまくいきません。正しい考えを持ちましょう。そのために御言葉を自分の思いに入れなくてははいけません。自分の思いを新たにすることを学びましょう。

2. 自分の肉と戦う

本来は茨のない、雑草のない世界であったのに、罪が入ったゆえに世界は墮落してしまいました。私達の心も同じです。私達は生まれながらにして可能性を秘めています。同時に肉の性質・壊れた性質を持って生まれてきました。私達の一番の敵は、自分の肉です。私が自分の肉に勝ったら、悪魔は私達に何もすることができません。イエス様は悪魔に勝利しました。悪魔のせいにするのは簡単ですが、問題はあなたの心です。自分の肉に対して激しい戦いをしなければなりません。これは終わりのない戦いです。

3. 常に良い心の態度を持つ

あなたは自分がどのような態度を持つか決めることができます。どんなに暗い日であったとしても、あなたは明るい態度を持つことができます。自分の感情や人の言葉、人がすることに影響される必要はありません。否定的な言葉でなく、神様の言葉を信じましょう。御言葉を信じて、それに合わせて自分の姿勢を正しく保つのです。

4. 正しい決断をする

ビルダーは自分の決断によって自分の人生を建て上げます。人の決断によるものではありません。愚かな人は愚かな決断によって自分の人生を壊しますが、私達は知恵のある者として、自分を建て上げていきましょう。

5. 良い仲間、関係を作る

味方を周りに置かなくてははいけません。悪い友、悪い仲間、悪い人間関係はあなたの人生にとってマイナスです。信仰の友、あなたに良い影響を及ぼす仲間を選びましょう。それによって、私達は自分の人生を建て上げることになります。

私達はライフ・ビルダーです。主の働きを効果的に担うために、自分を建て上げていきましょう。

学院で語られたスティーブン師の講義をご希望の方は学院事務局までお申し込みください。

●DVD～1時間／800円 合計8時間／6,400円

●CD～1時間／500円 合計8時間／4,000円

(※郵送料は実費となります。)

2008年度

卒業・修了生

感謝の言葉

■去る3月6日、ゲストに稲福エルマ師（新宿シャローム教会牧師・学院理事）をお迎えして、2008年度の卒業・修了式が執り行われました。北海道内外から多くの方々が参列し祝福してくださいました。これからのひとりひとりの新たな歩みの為に覚えてお祈りください。



■稲福エルマ師



■イエス・キリストの父なる神様を称えます。3年間の学院生活を通し主は真に私を愛し、その計画に召しておられる事を知る事が出来ました。支えてくださった私に関わるすべての方々に感謝いたします。今後はこの良き学びと経験をいかし、神様と人々に仕えてゆきたいです。栄光在主。

富岡 秀元 (ALPS卒業)



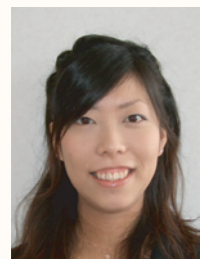
■私が、この学院で得たものは数え切れないほどあります！その中でも、仲間を得たことはとても大きな部分です！いつも一緒にいてくれるみんなが、私にとって、喜びであったし、楽しみでした！そして、それは、すべて神様からの良いものでした。みんなで神の国をこれからも広げていけることを感謝します！

外山 敏行 (ALPS卒業)



■この三年間、両親をはじめたくさんの人々に支えられ、無事に卒業することができました。先生、スタッフ、仲間、奉仕教会、学院を支えてくださってる方々、本当に感謝です。これからも、主を信頼して前進していきます。栄光在主。

伊江 留津美 (ALPS卒業)



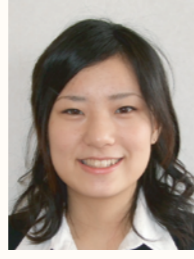
■卒業したくない！！…のに、とうとう卒業してしまいました。ここでの三年間、すべてのことが私にとって益となりました。霊の故郷を離れ、とても寂しいですが主にあって前進していきます！ピリピ3:13,14 祈り支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

大久保 旨子 (CMP卒業)



■この二年間の学院生活を振り返って学んだことは一言で言うなら、忍耐です。主にあって待つ、ということを実感した二年間だったんじゃないかな、と感じています。この先、一般とCMPから学んだことを活かしつつ、神様が遣わす様々な場所で地の塩・世の光として活躍していきたいです。沢山のお祈り感謝します。今回で本当に卒業します！主のなさることは時にかない美しい！アーメン！！

ゲドール・アング イー・愛里子 (CMP卒業)



■学院生活2年間の中で、先生・学院生・地域の方々などとの出会い、共に学び、励まし合い、泣き、笑い、祈るなど、充実した毎日を過ごすことができました。家族、教会の方々、皆様に・・・そして神様に心から感謝します。これからも神様と共に歩むのが楽しみです！

笹山 麻衣 (CMP卒業)



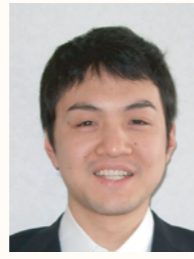
■「あれしてこれして、こうなって…」と夢を描いて入学した私に、主が5回も示されたみことばは、詩篇37:5「あなたの道を主に委ねよ、主に信頼せよ…」でした。ここで学んだ一番大きな事は、「へりくだり」です。主が人生で成し遂げて下さる偉大なご計画に期待し、学院で出会えた家族のような兄弟・姉妹と、この恵みの時を与えて下さった神様に心からありがとう！

桑原 里華 (CMP卒業)



■ハレルヤ！主に感謝します。2年間の学びの中で、神様との関係が今まで以上に深まり、良い訓練の時となりました。これまで祈り、励まし、サポートして下さったお一人お一人に感謝の気持ちで一杯です。これからの道も主と共に前進していきます！

澤村 愛 (2年卒業)



■2年間の学びをなんとか終了することができました。毎日の授業、奉仕教会での奉仕、そして交わりと充実した2年間を送ることができたこと主に感謝します。どうなるかも分からず学院の門をたたきましたが、主が全てを備えて導いてくださるということを以前よりも確信を持って言うことができます！これからも主に期待していきます！！

渡邊 真仁 (2年卒業)



■ハレルヤ。麗しい主を褒めたたえます。学院での2年間は恵みの嵐でした。貴重な学びを分かち合ってくれた先生方、学生生活を支えてくださったスタッフの皆様、また、とりなし励ましあらゆる面でサポートして下さった皆様方に心から感謝申し上げます。もう卒業ですが、これからの主との歩みの本番です。どんな時ただ主を見上げ、神により頼んで前進していきたいです。

檜森 ひとみ (2年卒業)



■この学院での2年の学びを経て、私は神様との交わりを優先する大切さ、人の人生はあつという間で神様のご計画を行うことが一番楽しい人生を送れることを知りました。学院を卒業しても神様との関係を深めて神様の声に聞き従って歩んでいきたいです。詩篇16:8～11

重田 サヤカ (2年卒業)



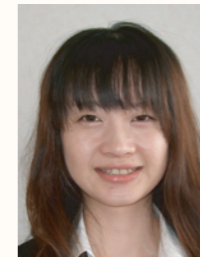
■主の御名をほめたたえます！「私は真実でなくとも、主は真実な方です」この言葉は、いつの間にか私の定番文句になっていました。この学院での二年間、何度も思わされた言葉です。卒業するに当たって思うのは、今まで本当にたくさんの人に支えられていたことです。私の力ではありませんでした。一人ひとりに感謝します。主に栄光！

井上 結実 (2年卒業)



■ハレルヤ。主をほめたたえます。主は私を愛し、いつも共にいて守って下さいました。多くの方々の支えと助けによって、CMPと一般二年間の充実した学びの時を終えることが出来ました。心から、感謝します。いよいよ出発。毎日、イエス様と共に喜び、イエス様と共に泣いて、一歩ずつ前へ進みます。

和田 ナオコ (2年卒業)



■一年間学院で学ぶことができ、神様に感謝です。まさか学院に来るなんて、私の人生計画にはまったくなかったのに、神様は計画をもって私を導いていてくれました。これから神様は私をどこに導いてくれるのか楽しみです。学院生活は本当に楽しくて、とても恵みの時でした。

本野 真理 (1年修了)



■ここで出会った人々。ここで交わされた神様との会話。ここで得た喜び。ここで持った葛藤・痛み。全ての恵みに感謝します。永遠の完全な方が、いつも私と共におられる、という強い確信をにぎり、神様が私に与えておられる道を、一歩一歩、歩んで行きたいです。

河村 亜希 (短期修了)



■卒業・修了のお祝いに来てくださった方々と共に記念撮影



須藤 大地 (北海道・一般コース)

●どんな高級な鉛筆でも芯がなければ話にならないように、私達の人生も神様が中心じゃなければなんの意味もなく虚しいもの。私は必要な時だけ神様を中心に、「もう、アホだろ！」という生き方をしました。それを変えたくて土台をしっかり築きたく学院に入学しました。これからの学びにめっちゃ（×7億）期待して... ハレルヤ！



平野 正樹 (静岡県・一般コース)

●ハレルヤ！！主の御名をほめたたえます。すばらしい環境の中で御言葉を学ぶ機会が与えられたことを感謝いたします。多くの方々の祈りや励ましにより聖書学院に入学することができました。学院でのさまざまな訓練などを通して、信仰の土台を確立し、多くの方々に対して愛を実践できるよう造りかえられたいです。



平野 裕子 (静岡県・一般コース)

●主の御名をたたえます。慣れない環境での生活、さまざまな戦いのなかで、私には何が出来るのかよく吟味し祈り求めて「あなたがたの側におられる」という御言葉どおり平安と癒しを頂いて人々の心の支え人となる様な存在になりたいと思います。

2009年度4月13日(月)

新入生のごあいさつ

■ゲストにスティーブン・ケイラー師をお招きして入学式が執り行われました。ケイラー師からの「立派な働き人を目指して」努め励ましましょうとの熱いチャレンジに、6名の新入生は、これからの学びに心を新たにスタートを切ることが出来ました。これからの学生たちの歩みのために祈りよろしくお祈りいたします。



吉野 雄志 (熊本県・一般コース)

●ハレルヤ感謝します。本当にこの学院に導かれたのも神様の御心のままでした。この準備期間もさまざまな誘惑から守られたのも感謝でした。いろいろな試練の中にあっても神様を見上げて神の家族である事を実感し、時間を掛けて1歩1歩ゆくりと御言葉を自分のものにしていきます。ビジョンとしては、海外への宣教師として遣わされ、この私に神様が下さった数多くの奇跡の業を証しするキリストの証人として教会に仕える事です。皆さんのお祈りとサポートを心から感謝します。



服部 秀男 (北海道・一般コース)

●今は期待と希望でいっぱいです。入学式直前の礼拝での主の歌で「祈りの戦士」というのがありました。そうです、私がいくら努力しても限界がありますが、神様には限界がありません！祈りの戦士となって、戦っていきます！神様に期待します！ハレルヤ～！



トルシヨ・ラル・ジョシイ (ネパール(カトマンズ)・一般コース)

●ハレルヤ！愛する天の唯一の神様の御名をほめたたえます。この学院に入学できてよかったです。主に感謝します。神様を毎日もっともっと知りたいです！

献金の感謝と祈りの課題



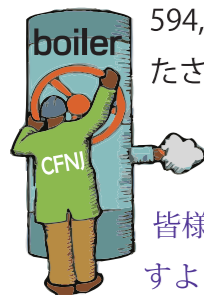
北海道にもようやく遅い春がやってきました。皆様のお祈りと暖かいご支援に励まされて、スタッフ学生一同、新たな年度をスタートすることが出来ました。通常の運営費のため、又先にお願ひしたボイラー修理のためにも、大きな犠牲を払って捧げてくださった方々に、心から感謝申し上げます。さらに下記の必要を覚えていますのでぜひ覚えてお祈りくださり、お捧げくださいますようお願いいたします。



祈られる学生たち

●通常の運営費／学生数の減少（全日生 33 名が～ 23 名に）により授業料・寮費の収入が減少（年間約 7,042,000 円）し、2009 年度の試算では大幅な赤字が見込まれています。学生が増えることと、毎月の経済の必要が満たされるようにお祈りください。

●ボイラー修理のために／650 万の必要のうち現在までに 594,000 円が捧げられました。残りの金額も満たされるようにお祈りください。



●スタッフ、教師、学生一同の健康の為。

皆様の上に主の豊かな祝福と報いが与えられますようお祈りいたします。



学院での夜の祈り会



それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」マルコ 16:15

2009年度の海外アウトリーチ

■2年に一度の海外アウトリーチ、今年は3チームに分かれて下記の日程で行う予定です。

- 期間／12月8日～17日の約10日間
- 宣教地／タイ・ミャンマー・フィリピン
タイ「CMPの学生を中心としたチーム・主に児童伝道」
ミャンマー「ダニエル・マカーティ師の聖書学校をベースに活動」
フィリピン「菅原真一宣教師のサンタローサ日本人教会をベースに活動」
- 参加費用／1人／15万～23万
(23名の全日制の学生全員と監督リーダーのスタッフ5名全員が参加した場合、総額約500万) 準備と参加費用の備えのために今から覚えてぜひお祈り下さい。



モンゴルアウトリーチ (2003年度)



フィリピンアウトリーチ (2007年度)



クリスチャンになったイスラム教徒が、キリストの平和を伝えている！

■クリスチャン・ポストは、レバノンでイスラム教徒に生まれたヒシャム・シェハープという宣教師の話を掲載した。

彼は、彼の兄弟と共に、イスラム教徒とクリスチャンとの間に起こったレバノンの内戦で、ロケット発射砲や迫撃砲、ライフル銃で戦った。彼の上官は、「もし、まっすぐ撃ちたいなら、おまえの目の前にクリスチャンがいると思え！」と言っていた。

シェハープの兄弟がクリスチャン兵に殺された後、彼はベイルートのアメリカ系大学に入学した。彼は、大学でクリスチャンの学生を殺すことによって兄弟のかたきを討とうと計画していた。しかし、イエスの教え、特に山上の垂訓や「自分の適を愛し、迫害する者のために祈りなさい。」の箇所を読んで、大いに影響を受けた後、彼は次のように言った。「銃とサイレンサーで自分の敵に忍び寄っていた私が、初めて『敵を愛しなさい』という言葉を知りました。これは、超人的か、そうでなければ、バカげた話だと思いました。」

クリスチャンになって以来、シェハープはパレスチナ、イラク、イラン、スーダンやレバノンからの避難民と移民を助けるルター派アラビア人教会で働いている。彼は今、唯一の平和の君であるイエス様だけが、中東の人々に和解をもたらすことができると知っている。

(編集者注) もっと多くのイスラム教徒やペルシャ人、中東圏にいる人々が自分達の救い主、主イエス・キリストを知って愛するようになるため、シェハープが大胆に証しできるようお願いください！

フランスのサイバースペース・ミニストリーに素晴らしい結果！

■フランス人エリック・セリエが若い牧師として最初のホームページを開設した時、インターネットはまだ初期段階であった。現在、セリエは「Topchretien.com」というクリスチャンのためのインターネットポータルサイトの創設者である。また、セリエは新技術を駆使している福音伝道者の先駆者として、「ConaitreDieu.com」や「looking for God(神を探す)」を開設した。これはノンクリスチャンのためのホームページで、13の言語で利用できる。

セリエのホームページは、毎日、100万人の閲覧者があり、キリストを受け入れる決心者が、約1,200人起こされている。2009年2月の決心者数は、100万人に達した！

(編集者注) 御国のために素晴らしい魂の収穫をもたらしているセリエの志や技術、好意の油注ぎを主に感謝しましょう。そして、

私達も主イエス・キリストを効果的に証しする力が与えられるよう求めましょう！

子ども達を守るために気をつけましょう！

■アメリカで、子供向けの新しいテーブルゲームがでてきた。それは10代や成人期など人生の各段階に自分のこまを動かしながら進めていくもので、その中には異性婚か同性婚かという選択肢もある。確かに、そのゲームは、無邪気な子どもたちに、一般的な結婚と「同性愛」の結婚という選択肢を提示しているのだ！そのゲームは8歳以上が対象となっている。さらに、メリアム・ウェブスター辞典の新版は、結婚を、一人の男性と一人の女性が結ばれること、又は二人の同性が結ばれることと定義している。

(編集者注) 全世界は真理の戦いに巻き込まれています！神様の御言葉は、私達に変わらない真理を示してくださいますが、世の人々は聖書が言っている通り、その絶対的な御言葉の真理を受け入れず、真理の基準を持っていません。彼らは、「寛容」を美德であるとみなしていますが、しかし、2+2=5は、学校やビジネスでは許容されません。それは、誤りは現実を反映せず、むしろ誤りは害をもたらすからです。

例えば、2+2=5の数式を使って架けられた橋は倒壊します。道徳的な誤りを容認するあらゆる社会も同様です。本来、真理は間違いを容認することも許容することもできないものです。イエス様は、ご自身の愛と真理を受け入れるよう人を招くことによって、その人を道徳的な誤り(罪)に向き合わせました。イエス様は言われました。「わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世にきたのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」(ヨハネ 18:37-38)。

この真理の戦いには多くの国が関わっていますが、実際には2つの王国しかないという現実を反映しています。神の王国とサタンの王国です。神の王国は、真実、光、愛、いのちです。サタンの王国は、誤り、暗黒、憎しみ、死です。世に打ち勝つ勝利は、啓示された御言葉に対する私達の信仰です。

宇宙の小惑星との「ニアミス」を体験した地球

■2009年3月2日、「1時間に数千kmの速さで移動している、10階建てのビルほどの大きさの小惑星が地球に71,400kmまで接近しており、月との距離よりも近い。」という世界ニュースが流れた。「その衝撃は、1,000個以上の原子爆弾に相当し、徹底的な破壊を全世界に与えていただろう。」

(編集者注) 私たちが宇宙の中の惑星に住んでいて、年に1度、時速108,000kmで太陽の周りを1周していることは忘れやすいものです！しかし、速度が私たちの問題ではありません。大事なことは、私たちが自分の人生で、福音の真理を受け入れ、分かち合い、表していく用意ができていくということです。この地上での私たちの時間は限られており、いつか終わります。しかし、その次の段階 - 永遠における私たちの寿命は決して終わることはありません。小惑星との衝突から私達を守ってくださることによって、神様は、人類がかの日(かの日とは、栄光のご来臨、そして、共にご自身と過ごす永遠の始まりなのです。)に備えるための時間を与えてくださっています。■

ユース・フォー・ザ・ネーションズ 2009 あなたのまわりにある畑・・・それはあなたの畑です。

YOUTH FOR THE NATIONS 2009



西村希望師

1971年生まれ。1998年インマヌエル聖宣神学院卒。みどり野教会ユースリーダー。収穫の為の働き人の育成をめざし、これまでに8名の伝道師、12名の若者達が献身し、8年前からチャークススクールも始め、さらに働き人育成を進める。現在、ユースによるワークショップで、60名ほどの若者たちが、彼らのニーズにあった表現の仕方ですを賛美し、礼拝している。このユースが主によって生かされ、キリストの弟子となることを祈り、仕えている。

Lift up your eyes and look at the fields.

『目を上げて畑を見よ!』 蒔人刈人物語

(まきんちゆ) (かりんちゆ)

THE SOWER & PEAPER STORY

- **ゲスト** / 西村希望 師
- **日 時** / 2009年**5月29日**(金) ~ **31日**(日)
- **場 所** / CFNJ 聖書学院
- **参加費** / **2泊3日** 全参加 5,100円 参加登録のみ 1,500円

(※詳しくは参加申込書をご覧ください。又、宿泊人数に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。宿泊は寝袋持参になります。)

- **ユースリーダーズセミナー参加費** / 1,000円
- **申込方法** / 参加申込書を FAX または郵送後、参加費合計額を下記の口座へお振込み下さい。(5/18 締切) ●払込先 (郵便振替口座) [加入者] ユース・フォー・ザ・ネーションズ [口座番号] 02740-9-45149 参加申込書はウェブサイトからもダウンロード出来ます。http://www.yfnjapan.com
YFN 専用メールアドレス Info@cfnj.com

■ **主催** / 企画・連絡先：ユース・フォー・ザ・ネーションズ
(CFNJ 聖書学院内、YFN 事務局)



「学院創立 25周年 記念会」開催!

- **と き** : 2009年9月6日 (聖日) 午後3時より
- **ゲスト** : **レオ・ケイラー師**
- **場 所** : **CFNJ 聖書学院** 有明バイブルチャーチ牧師(創立者)

■1985年4月に創立したCFNJ聖書学院は、今年で25周年を迎えることができました。本当にこれまでの数多くのみなさまの愛と励ましに、心から感謝を申し上げます。学院ではこの25周年を記念して、9月6日(聖日)の午後3時より「創立25周年記念会」を執り行なうこととなりました。学院は、日本に於ける神の御体の発展と前進の為に、これまで以上により働き人の育成に取り組んでいきたいと願っております。どうぞおぼえてお祈りくださるとともに、ご参加くださいますようご案内いたします。



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

- HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
- e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

